

34 金沢工業大学

Kanazawa Institute of Technology

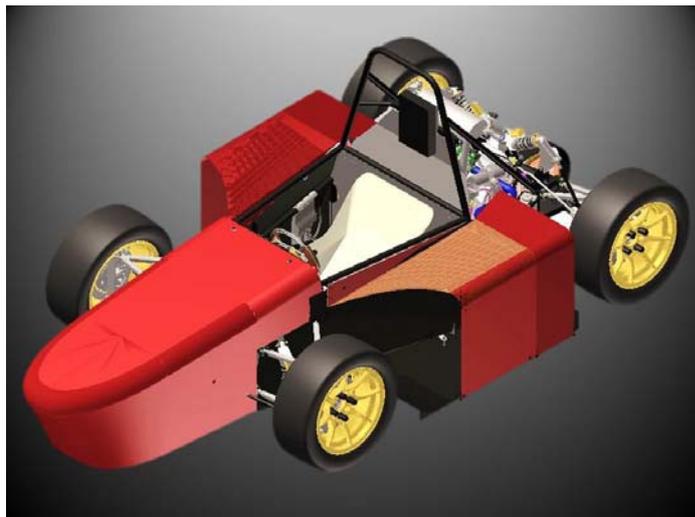


思い新たに

夢考房フォーミュラカープロジェクト

Formula car Project, Yumekobo

<http://www2.kanazawa-it.ac.jp/formula/>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: **KIT-14model**

KIT-14modelは、「信頼性の追求」をメインコンセプトとして、設計を行いました。まず全動的審査の完走というのが大会の第一目標であったため、このようなコンセプトとなりました。

車両パッケージとしては、昨年度製作したKIT-13modelからのマイナーチェンジとし、各パーツにおいて再度設計を見直しました。信頼性を高めるために剛性の向上、構造を簡略化、整備性の向上ということを意識し、長距離走行に耐えられる設計をめざしました。また、ラジエーターファンを1個から2個に変更し、水温によって自動制御させる、メーターパネルの視認性を向上させるなど、ドライバーの安心に繋がる設計ということも意識しました。

また、過去の大会においては大会直前に車が完成し、10~20km程度しか走っていない状態で大会に出場していたのですが、今年は例年より2~3ヶ月早くシェイクダウンを行い、200km程度の試走によってトラブルを潰し、完成度を高めた状態で大会に臨むことができました。これは、1年間を通して、マネジメントに力を入れた成果だと感じています。主に製作期間において日程・進捗管理のシステムを構築し、0.1%刻みで進捗や遅れの管理ができ、また、誰が今どこで作業をしているか、ということが一目で分かるようになりました。これによって各作業の効率化を実現することができました。

Participation report 参戦レポート

今回の大会ではまず全審査の完遂・完走ということを目指して大会に臨みました。1日目から事前車検を受けることができ、大会前にチーム内で車検対応の確認を行っていたこともあり、過去最速で車検を通過することができました。また、静的審査、動的審査共に、最終審査のエンデュランスまで問題なく進みました。ただ、オートクロスでのタイムが思うように出ず、出走はCグループとなりました。

そして、勝負のエンデュランスの日。朝からの雨で出走時間が繰り上げとなり、走れない可能性が出てきました。ピットで心配しながら待機し、夕方になって列につきました。17:30には打ち切られるとの連絡を受けましたが、ギリギリまで走れることを信じていました。

しかし、現実には厳しく、あと2台で出走というところでエンデュランスが打ち切られました。完走を目標にしていたにも関わらず、結局出走さえできないという結果に終わってしまいました。雨のせい、アクシデントのせい、と言いつつ簡単にはできませんが、やはり大会では天候やアクシデントも想定したうえでマネジメントしなければいけません。全てのチームが同じ条件で大会に望んでいるのですから。

今年で4年連続大会に出場することができ、ようやく大会出場が当たり前となったように思います。また、スムーズな車検通過、200km以上の試走、とチームとして確実にレベルアップしている面はあります。来年以降は全審査完遂・完走が当たり前となり、上位に食い込めるチームとなるように頑張っていきたいと思っています。



今回の総合結果・部門賞

●総合37位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たちは2002年に夢考房プロジェクトのひとつとして発足し、今年で発足13年目を迎えました。チームメンバー数が50人程と大所帯で運営が難しい面もありますが、本音で腹を割って話し合える良い関係を保ち、人数の多さを生かしたチームづくりをめざしました。

Team-member チームメンバー

重吉 祐輔 (CP)

塚本 義一 (FA)、安藤 慶、山崎 恭一、大塚 翔太、堅田 翔太、茶谷 拓摩、林 篤志、柿沼 裕貴、狩野 正志、小室 孝太、昆野 剛、坂井 啓人、佐治 湊一、新谷 綾、鈴木 智大、竹内 啓人、田中 慎太郎、玉田 涼、濁澤 輝、西岡 大貴、新田 拓也、長谷川 諒、荒川 清香、飯野 晟典、小口 翔、木村 光汰、菅沼 俊哉、杉本 祐基、野田 真之介、花村 勇哉、松本 隆義、甘利 建文、有元 良輔、井口 湧登、川野 航奨、北村 正拓、佐藤 和輝、嶋崎 竜哉、鈴木 琢也、西川 秀輝、西出 裕、野島 佑太、松坂 貴裕、三石 陽亮、望月 栄太、守 拓也、森田 浩貴

Sponsors スポンサーリスト

アキラックス、今村摩擦圧接工業、ウエダ、F.C.C.、AVO/MoTeC Japan、S-GRID、NTN、キノクニエンタープライズ、草島ラジエター工業所、スズキ、住友電装、TAN-EI-SYA、大同工業、高松機械工業、トラップ、ナオックス、日信工業、深井製作所、ミスミ、MOTUL、ラストラダ販売

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/34.html>